日本中東学会ニューズレター

JAMES
NEWSLETTER

No.159
2020/8/5

目　　次

理事会報告 1
総会報告 2
日本中東学会第 36 回年次大会特別研究集会開催のお知らせ 14
第 36 回日本中東学会年次大会特別研究集会プログラム 15
『日本中東学会年報（AJAMES）』編集委員会報告 25
「会費の前納制廃止」にあたってのお願い 25
寄贈図書 25
会員の異動 26
事務局より 26
編集後記 27

理事会報告

【2020 年度第 1 回理事会報告】

日時：2020 年 6 月 6 日（土）　13:00～18:00

オンライン開催

出席者：秋葉淳、岩崎えり奈、江川ひかり、大稔哲也、勝沼聡、菊地達也、黒木英充、近藤信彰、末近浩太、東長靖、錦田愛子、三沢伸生、森山央朗、山岸智子、安田慎

欠席者：横田貴之（委任状あり）

［報告事項］

1. 2020 年度 AJAMES 編集委員会活動報告があった
2. 国際交流事業について、2019 年度の活動報告があった。
3. 広報事業について、学会 HP の更新について報告があった。
4. 2019 年度第 25 回公開講演会の実施状況について報告があった。
5. 2021 年度第 37 回年次大会の開催校が立命館大学に決定したことが報告された。

［審議事項］

1. 2019 年度事業報告と 2019 年度決算案を承認した。
2. 2020 年度事業計画と 2020 年度予算案を承認した。
3. AJAMES 編集事業計画を承認した。
4. 国際交流事業の 2020 年度事業計画案を承認した。
5. 広報事業について、今後の方針を確認した。
6. 第 36 回年次大会における研究発表の代替として、8 月 29 日及び 30 日にオンラインで日本中東学会第 36 回年次大会特別研究集会を開催することを承認した。
7. 会員動向・強制退会者について報告があり承認した。
8. オンライン総会の実施方法を承認した。
9. 学生会員及び会費特例会員の 2020 年度会費の免除を承認した。
10. 会費前納制廃止の提案ならびに、会則第 4 条を、「会計年度は 4 月 1 日より翌年 3 月 31 日までとする」と変更する案を承認した。
11. 事務局業務の外部委託化について説明があり、2020 年度内に外部委託を開始する案を承認した。
12. 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会（GEAHSS）の加盟を承認した。

総会報告

【2020 年度日本中東学会第 36 回年次大会総会議事録】

日時：2020 年 6 月 14 日（日）～6 月 20 日（土）質疑応答、6 月 21 日（日）～6 月 27 日（土）採決、6 月 29 日（月）開票

会場：日本中東学会ホームページ上

出席：投票参加者 185 名、委任状提出 19 名（電子 13 名、郵送 8 名、無効 6 名）、計 204 名

（会員総数 631 名に対する総会定足数 5 分の 1（127 名）を満たしたことにより、総会成立）

1　総会役員の選出
オンライン総会につき、議長として飯塚正人会員、書記として鈴木啓之、山本健介両会員、議事録署名人として三代川寛子、黒田彩加両会員を理事会が選出した。

2　2019 年度事業報告および決算
第 18 期各担当理事より、総会資料に基づく報告があった。

(1) 事業報告　（報告：安田慎　第 18 期事務局長）
1) 第 35 回年次大会を、2019 年 5 月 11～12 日に、秋田大学手形キャンパスおよび秋田市にぎわい交流館 AU 多目的ホールにおいて開催した。
・公開シンポジウム「中東地域における多元的資源観の醸成を目指して」
・研究発表 8 部会 47 本、企画セッション 8 本。

2) 学会事務局を慶應義塾大学から高崎経済大学へ移転した。

3) 2019 年 11 月 17 日に第 25 回公開講演会「素顔の中東・イスラーム」を山口市市民会館ホール（山口市、後援：山口県、山口県教育委員会、山口県高等学校教育研究会社会部会、「地域から考える世界史」プロジェクト in 山口）において開催した。

4) 海外の関連学会との交流を促進した。
・第 35 回年次大会に、韓国中東学会から LEE In-Seop 会長ほか 1 名を招待した。
・2019 年 11 月 22～24 日、ソウルの Grand Ambassador Hotel と韓国外国語大学校（Hankuk University of Foreign Studies (HUFS)）を会場に開催された韓国中東学会（KAMES）主催の国際会議“Rising Conflict in the Period of New Diaspora and Geo-Economic Transitions in the Middle East”に日本から黒木英充国際交流委員長を始めとする 3 名が参加した。
・東京都主催在京イスラム諸国外交官との情報連絡会（2019 年 5 月 29 日）と首相官邸での在京イスラム諸国外交団とのイフタール（2019 年 6 月 3 日）に大稔会長が参加した。

5) ニューズレター和文 4 回（総頁 84 頁）を発行した。第 155 号（4/25、12 頁）、第 156 号（9/12、年次大会特集、46 頁）、第 157 号（12/25、9 頁）、第 158 号（3/17、17 頁）。

6) 「日本における中東研究文献データベース 1989-2020」につき、新規業績などの調査・更新を継続し、学会ウェブサイトにおいて公開した。

7) 新たに 4 名からなる広報委員会を組織し、学会ウェブサイトの一部改修（twitter 連携、研究論文データベースの機能改修など）を行った。

8) 学会ウェブサイトおよび会員メーリングリストによる広報を行った。

9) 地域研究学会連絡協議会の参加組織として、地域研究の興隆を図るとともに、参加組織の相互交流に努めた。

10) 日本学術会議協力学術研究団体として、他団体と連絡を取りつつ必要な活動を行った。

11) 会員の増減： 2019 年度中には入会者 27 名、退会者 37 名（自主退会 17 名／強制退会 20 名）の異動があった。その結果、2020 年 3 月 31 日現在の会員数は 631 名（正会員 487 名／うち海外在住 16 名；学生会員 127 名／うち海外在住 3 名；会費特例会員 17 名／うち海外在住 0 名）となった。

(2) AJAMES 編集報告　（報告：横田貴之　第 18 期編集委員長）

・『日本中東学会年報』（AJAMES）第 35-1 号、第 35-2 号の編集･出版と頒布、電子ジャーナルとしての公開の手配を行った。
・第 35-1 号では、論文 1 本（日本語 1）、特集（英語：論文 2、研究ノート 2）、研究ノート 2 本（日本語 2）、資料紹介 1 本（英語 1）、書評 3 本（日本語 2、英語 1）が掲載された（投稿総数 16 本。うち日本語 10 本、英語 6 本）。
・第 35-2 号では、論文 4 本（日本語 4）、研究ノート 4 本（日本語 3、英語 1）、英語博士論文要旨 1 本が掲載された（投稿総数 12 本。うち日本語 9 本、英語 3 本［英文博論要旨 1 本含む］）。
・平成 31 年度科研費（研究成果公開促進費・国際情報発信強化（B）「アジアにおける中東研究のリーディングジャーナルとしての『日本中東学会年報』の国際情報発信強化」について、中間評価結果で「A－」であった。期間残り 2 年で、金額 250 万円／年で事業が継続する。
・海外研究機関他、国内外寄贈先への発送を行った。
・科学技術振興機構（JST）の運営科学技術情報発信・流通総合システム（J-STAGE）においてバックナンバーの公開（第 34-2 号までオープンアクセス）を行った。

(3) 2019 年度決算報告　（報告：安田慎　第 18 期事務局長）

・総収入は 26,687,691 円。内訳は以下の通りであった。
・2018 年からの繰越金が 20,471,259 円、年会費収入が 3,406,000 円、科研費国際情報発信強化助成と AJAMES 販売代金を含む、その他の収入が 2,810,432 円。
・総支出は 26,687,691 円。これによって総収入額と一致。内訳は以下の通りであった。

・事務局費 : 1,679,741 円、事業費 : 5,938,765 円、2020 年度への繰越金 : 19,069,185 円。
・その他、年次大会時託児所特別基金、学会奨励賞特別基金、年次大会特別基金の収支についても報告があった。
・2019 年度の収入のうち、2020 年度以降分の会費収入が減った。これは前納制廃止の議論が進んでいたことを踏まえ、事務局が 2020 年度の会費徴収を積極的に行わず、過去の滞納分の徴収に注力したためである。
・予算と比べて増減が著しい項目は以下の通りである。
  ・2020 年度以降分年会費、交通費、AJAMES 欧文校閲費、AJAMES 宣伝費、国際発信強化旅費（海外招聘）、国際発信強化旅費（海外派遣）、国際交流費、AJAMES 海外発送費、J-STAGE 公開費、地域研究連絡協議会分担金。
    ・予算に比べ、決算の収入が 1,886,331 円減額した。前納制廃止の議論が進んでいたことを踏まえ、事務局が 2020 年度会費徴収を積極的に行わなかったため。
    ・理事会や事務局にかかる交通費の支出が、予算 150,000 円に対し、18,840 円だった。事務局長の交通費を都内での非常勤校勤務の日程と合わせたこと、3 月の理事会が新型コロナウイルスの影響で中止されたため。
    ・AJAMES 欧文校閲費の支出は、予算 550,000 円に対し、102,373 円だった。欧文での投稿が少なかったため。
    ・AJAMES 宣伝費の支出は、予算 100,000 円に対し、0 円だった。J-STAGE 公開が進み、積極的な宣伝活動をしなかったため。本項目は、今年度予算より削除する予定。
    ・国際発信強化旅費（海外招聘）の支出は、予算 400,000 円に対し、153,968 円だった。KAMES から招聘した 2 名の旅費が安く済んだため。招聘地・時期によって毎年の金額が大幅に異なるため、予算を多めに見積もっている。
    ・国際発信強化旅費（海外派遣）の支出は、予算 300,000 円に対し、43,850 円だった。KAMES に派遣した理事 3 名のうち、2 名分の渡航費と 1 名の日当が KAMES より支払われたため。
    ・国際交流費の支出は、予算 150,000 円に対し、33,670 円だった。目立った国際交流事業が行われなかったため。
    ・AJAMES 海外発送費の支出は、予算 300,000 円に対し、68,080 円だった。近年海外会員と海外の寄贈先が減少傾向にある。今年度より予算を減額する予定。
    ・J-STAGE 公開費の支出は、440,000 円に対し、183,399 円だった。バックナンバーの公開が一通り完了し、2019 年度より最新号の作業のみで済むようになったため。今年度以降、予算を減額する予定。
    ・地域研究学会連絡協議会分担金の支出は、予算 5000 円に対し、0 円だった。協議会の内部留保が多いことから、2019 年度の分担金徴収がなかったため。

(4) 監査報告　（報告：赤堀雅幸・竹村和朗　第 18 期監事）
・2020 年 5 月 25 日にオンラインにて、2019 年度の会計監査を行った結果、適正に執行されたことを確認した。

＜採決＞以上の 2019 年度事業報告および決算報告について、承認 185 名、否認 0 名より、総会はこれを承認した。

3　2020 年度事業計画および予算案

第 18 期各担当理事より、総会資料に基づく報告があった。

(1)　2020 年度に日本中東学会は以下の事業を行う予定である。（報告：安田慎 第 18 期事務局長）

1)　2020 年 5 月 16～17 日に桜美林大学新宿キャンパスで予定されていた第 36 回年次大会は、新型コロナウイルス感染拡大のために中止となった。オンライン上での代替開催を行う。

・第 36 回年次大会総会を、オンライン上で行う（6 月 14～20 日質疑応答、6 月 21～27 日採決）。

・第 36 回年次大会特別研究集会を 8 月 29～30 日にかけて行う。特別研究集会の開催のため、特別研究集会実行委員会を立ち上げる。

2)　『日本中東学会年報』（AJAMES）第 36-1 号（2020 年 7 月）、第 36-2 号（2021 年 1 月）の編集･出版と頒布、電子ジャーナルとしての公開の手配を行う。刊行にあたり、科学研究費補助金（研究成果公開促進費）「国際情報発信強化」の助成を受ける。

3)　2020 年 5 月 16 日に開催予定であった第 36 回年次大会公開シンポジウムを、第 26 回公開講演会として開催する。

4)　ニューズレターを年数回発行する。

5)　「日本における中東・イスラーム研究文献データベース 1989-2020」につき、新規業績などの調査・更新を継続し、学会ウェブサイトにおいて公開する。

6)　海外の関連学会との交流

・新型コロナウイルス感染拡大のため、（2020 年 5 月 16～17 日に桜美林大学にて開催予定だった）第 36 回年次大会への韓国中東学会会長・事務局長の招聘を計画していたが、実現が叶わなかった。

・2020 年度アジア中東学会連合（Asian Federation of Middle East Studies Associations）の大会について、新型コロナウイルス感染拡大のため、9 月下旬にソウルにて開催が予定されていた本大会の 2021 年への延期が決定した。2021 年の早い段階で日程を検討し決定するとの連絡が主催者・韓国中東学会より伝えられ、2020 年度内

（2021 年 3 月まで）の開催が見込まれなくなったことから、当初予定していた本学会より AFMA 大会への数名の派遣も実現できなくなった。
・今年度中の AFMA 関係学会との連絡を継続し、オンラインによる協力関係のあり方を検討する。

7) 学会ウェブサイトおよび会員メーリングリストによる広報を行う。
・ウェブページ拡充を行う。

8) 地域研究学会連絡協議会の参加組織として相互交流に努め、地域研究の興隆を図る。

9) 日本学術会議協力学術研究団体として、他団体と連絡を取りつつ必要な活動を行う。

10) 第 19 期評議員・理事選挙を行う。
・本選挙からウェブ選挙を導入し、迅速な集計と人件費の削減に努める。

(2) AJAMES 編集報告 （報告：横田貴之 第 18 期編集委員長）
・現在、第 36-1 号の刊行準備を進めており、7 月に刊行予定である。投稿総数 11 本（うち日本語 5、英語 6）、掲載原稿 8 本、うち論文 2 本（日本語 2）、英語特集 5 本（うち論文 1、研究ノート 4）、書評 1（日本語）
・第 36-2 号は 2020 年 6 月 1 日に締め切り、2021 年 1 月に刊行予定。
・審査・編集体制の強化（国際情報発信強化）を行う。
・J-STAGE でのバックナンバーの公開作業（35-1 号以降）を行う。
・2020 年度編集体制は下記の通りである。
・編集委員長：横田貴之（10）
・副編集委員長：近藤信彰（12）、錦田愛子（5）
・編集委員：土屋一樹（8）、青柳かおる（8）、浜中新吾（7）、斎藤剛（5）、福田義昭（5）、石黒大岳（4）、佐々木紳（4）山崎和美（4）、吉岡 明子（2）、吉村武典（2）、D. F. Eickelman（18）、R. S. Humphreys（18）、A. K. Rafeq（18）、Kim Joong-Kwan（8）、Song Kyung-Keun（8） ＊括弧内の数字は「今年度で～年目」を示す

(3) 2020 年度予算案 （報告：安田慎 第 18 期事務局長）
・総収入は、25,975,188 円。内訳は以下のとおりである。
・2019 年度からの繰越金：19,069,185 円、年会費：3,855,940 円、その他 3,050,063 円
・総支出は、25,975,188 円。内訳は以下のとおりである。
・事務局費：2,318,000 円、事業費：5,305,000 円、2021 年度への繰越金：18,352,188 円

・前年度と比べて支出が増減する項目は以下の通りである。

・アルバイト謝金、消耗品費、交通費、事務局業務外部委託導入費、事務外注費（10～3 月）、大会会場費、AJAMES 英文校閲費、AJAMES 宣伝費、ウェブサイト改修費、国際発信強化旅費（海外招聘・海外派遣）、国際交流費、AJAMES 海外発送費、NL 発行費・通信費、選挙費、J-STAGE 公開費、年次大会特別基金への繰り入れ、寄付。

・アルバイト謝金、消耗品費、事務外注費（10～3 月）については、事務局の業務の一部を外部委託化し、従来の事務局としてのアルバイトの業務量が減り、その分を外注費として計上した。外注化が順調に進んだ場合、来年度以降のアルバイト謝金はさらに減額される予定である。

・交通費は、事務局長が都内での勤務に合わせること、オンラインでの理事会開催を踏まえ、減額した。

・事務局業務外部委託導入費は、見積もりを依頼した外部委託先の会社のデータをもとに作成した。委託準備費用 35 万円、および Web 選挙システム構築費 28 万円が内訳。この中には、引継事務諸費用、会員数に応じたデータ引継費用、会員管理システム導入費が含まれている。外部委託先によって、予算からの増減の可能性がある。

・大会会場費は、新型コロナウイルス感染拡大によるオンラインでの年次大会開催によって減額された。

・AJAMES 英文校閲費は、ここ数年の実績に基づき減額した。

・AJAMES 宣伝費は、J-STAGE の公開が進み、現在宣伝媒体がないため、廃止した。

・ウェブサイト改修費については、一昨年からのウェブサイトの全面改修作業が昨年度に終わり、今年度は新たな機能追加分を計上した。

・国際発信強化旅費（海外招聘）については、オンラインでの年次大会開催に伴い、招聘を中止した。

・国際発信強化旅費（海外派遣）、国際交流費については、2020 年度アジア中東学会連合（Asian Federation of Middle East Studies Associations）大会が延期になったため、計上しなかった。

・AJAMES 海外発送費については、J-STAGE の公開が進み、電子ジャーナルのある雑誌の紙媒体の寄贈を拒否する海外の図書館が増えている。寄贈先が減っている事情に合わせ、減額した。

・NL 発行費・通信費については、NL の電子化に伴って廃止した。数件の要望がある紙媒体での発送については、事務局の消耗品および通信費を充当する。

・今年度は隔年の評議員選挙・理事選挙に当たるため、その選挙費用を計上した。本年よりウェブ選挙を導入する予定のため、初期費として例年の選挙よりも増額している。

・年次大会特別基金への繰り入れは、繰越金が高止まりしていることを鑑み、一時的に減額した。

・寄付金は、全額を新型コロナウイルス感染拡大の影響による、学生・会費特例会員の会費減収の補填にあてる。

＜採決＞以上の 2020 年度事業計画案および予算案について、承認 185 名、否認 0 名により、総会はこれを承認した。

4　学生会員、及び会費特例会員の 2020 年度会費の免除　（報告：大稔哲也　第 18 期会長）

新型コロナウイルス感染拡大の影響による大学院生や非常勤講師の経済的窮状が、しばしば報じられている。これらの研究者のために学生会員、及び会費特例措置の適用を受けている正会員の 2020 年度会費を一律免除する。2020 年度会費をすでに納入した対象会員は、その分を 2021 年度会費へと振替える。

＜採決＞以上について、承認 184 名、否認 1 名により、総会はこれを承認した。

5　事務局業務の外部委託化　（報告：安田慎　第 18 期事務局長）

事務局業務のうち、会員情報管理、会費納入管理、評議員選挙・理事選挙、AJAMES の配布に関する業務を外部委託する。

日本中東学会が設立されて以来、学会事務局は大学の研究室などに設置され、教員と多くのボランティアの大学院生などを中心に運営されてきた。しかし、昨今の大学教員・大学院生の業務の負担増加を受け、事務局の引き受け手の確保が難しい状況が続いている。

事務局では、学会事務代行会社 33 社の業務委託内容や費用を調査し、そのうち 5 社から詳しい見積もりをとり、さらに 2 社とヒアリングを行った。その結果、外部委託化の初期費用はかかるものの、現在の事務局費と同等の予算で、会員にとってより充実した内容の業務委託できることが明らかになった。

外部委託のメリット：2 年ごとの事務局移転における業務停滞を避けられること、夏季・冬季長期閉室による会員の不便が解消されること、事務局業務専門のスタッフによる正確で迅速な対応を求められることが挙げられる。

外部委託の危機管理：懸念される資産（学会口座、会員情報）の保全について、業者には入金状況を確認するための権限のみを委託し、出金に必要な通帳や暗証番号は預けないため、委託先企業が学会資金を取り扱うことはできない形式になっている。また、銀行口座は学会名義のままであり、万が一の倒産の場合にも、学会の資産として保護されることを確認済みである。会員情報のセキュリティにつ

いては、各社で外部認証機関による個人情報保護のガイドラインに準じ、適宜講習等も受講していることを確認済みである。さらに、毎年、事務局は委託先の運営状況や業務遂行内容について、厳しくチェックを行うこととする。

＜質疑応答＞

（質問）外部委託をした場合、どのような発送作業が委託されずに事務局に残るのか。

（回答）（安田慎　第18期事務局長）今回の外部委託で想定している業務委託によって、事務局の発送作業は大幅に軽減される予定である。具体的には、会費振込用紙（年1回）、滞納中の会員への督促、AJAMESの外部への販売（年2回）、その他、会員全体への周知に関わる郵送作業が外部委託できる。事務局に残るのは、科研など外部からの対応、業者への支払いに関わる郵送など、個別対応を要するものがある。

また、会員名簿に関しては、オンライン会員検索機能などに対応している業者を候補に挙げているため、電子化される予定である。（6月20日更新）

＜採決＞以上について、承認183名、否認2名により、総会はこれを承認した。

6　会則変更：「会費の前納制廃止」　（報告：江川ひかり　第 18 期担当理事）

会則　＜第4条＞

（現行）

1. 会計年度は4月1日より翌年3月31日までとし、年会費は年度に先立って前納しなければならない。

（変更後）

1. 会計年度は4月1日より翌年3月31日までとする。

現在、学会の財政状況は安定しており、むしろ一年の総収入を大幅に上回る資産を抱えている。同一の会計年度内で収支を算定するという一般的な会計・活動形態と会費徴収の制度を一致させ、かつ収入と資産の適切な関係に配慮するため、会費の前納制の廃止が求められてきた。会費の前納制廃止については、第 17 期理事会において審議の結果、2年後の第36回年次総会（2020年度）に提案するよう第18期理事会へ申し送られた。そして、2019年5月11日に開催された秋田大学年次大会の総会において「前納制廃止について議論を進めていく」ということで会員に広く意見を募った（NL156号収録）。その後、一年間、会員からの意見はなかった。2019年10月15日開催の理事会（於：早稲田大学）において本議案は「2020年5月の大会時に審議する予定」と承認された。そして2020年6月6日に開催された理事会にて、本会則変更を全会一致で承認した。

＜採決＞以上について、承認 182 名、否認 3 名により、総会はこれを承認した。

7　GEAHSS への加盟　（報告：菊地達也　第 18 期担当理事 ）

重要な役職への女性の就任の促進、女性会員の増加、女性研究者の就職状況の改善に向けて GEAHSS（人文社会科学系学協会における男女共同参画推進連絡会）へ加盟する。

＜採決＞以上について、承認 184 名、否認 1 名により、総会はこれを承認した。

8　議事および採決の終了につき、6 月 29 日にすべての採決結果が報告され、総会は閉会した。

2019年度決算

本会計

収入	19年度予算	19年度決算
2018年度よりの繰越金	**20,471,259**	**20,471,259**
年会費	**5,343,250**	**3,406,000**
正・学生会員	5,343,250	3,406,000
2016年度以前分	-	260,000
2017年度分	171,100	135,000
2018年度分	356,400	330,000
2019年度分	2,259,750	2,155,000
2020年度分	2,556,000	511,000
2021年度以降分	-	15,000
賛助会員	0	0
その他	**2,750,063**	**2,810,432**
科研費公開講演会助成金	0	0
科研費国際情報発信強化助成	2,500,000	2,500,000
利子	63	59
AJAMES販売代金	250,000	310,373
収入合計	**28,564,572**	**26,687,691**

(単位:円)

2020年度への繰越金内訳	**19,069,185**
郵便振替口座	12,073,228
三井住友銀行口座	6,994,152
Paypal口座	0
現金	1,805

(単位:円)

年次大会時託児所特別基金

費目	収入	支出
2018年度よりの繰越金	453,706	
本会計より繰り入れ	50,000	
利子	4	
託児所利用料	21,000	
第35回大会託児所運営費		47,500
振込手数料		432
2019年度への繰越金		476,778
合計	**524,710**	**524,710**

(単位:円)

学会奨励賞特別基金

費目	収入	支出
2018年度よりの繰越金 (片倉もとこ研究奨励基金を含む)	1,905,944	
奨励金		200,000
賞状・賞状ケース代		1,798
振込手数料		650
利子	117	
2020年度への繰越金		1,703,613
合計	**1,906,061**	**1,906,061**

(単位:円)

支出	19年度予算	19年度決算
事務局費	**1,960,000**	**1,679,741**
アルバイト謝金	1,300,000	1,218,850
通信費	80,000	62,487
消耗品費	80,000	65,679
会議費	30,000	24,760
交通費	150,000	18,840
振込手数料	20,000	22,192
事務局備品費	150,000	144,392
事務局移転費	50,000	15,385
資料保管費	100,000	107,156
錯誤振込返金	0	0
事業費	**7,970,000**	**5,938,765**
大会開催費	400,000	400,000
大会会場費	165,000	155,430
AJAMES編集費	300,000	206,290
同欧文校閲費	550,000	102,373
同印刷製本費	2,100,000	2,184,698
編集委員会旅費	150,000	153,110
AJAMES宣伝費	100,000	0
ウェブサイト改修費	800,000	800,000
広報委員会事業費	500,000	461,310
国際発信強化旅費(海外招聘)	400,000	153,968
国際発信強化旅費(海外派遣)	300,000	43,850
国際交流費	150,000	33,670
NL発行費	5,000	0
会員名簿発行費	150,000	136,080
NL発送費	5,000	0
会員名簿発送費	100,000	109,440
AJAMES国内発送費	150,000	149,511
AJAMES海外発送費	300,000	68,080
J-Stage公開費	440,000	183,399
公開講演会開催費	550,000	280,882
中東・イスラーム文献DB更新費	150,000	150,000
地域研究学会連絡協議会分担金	5,000	0
年次大会特別基金への繰り入れ	100,000	100,000
託児所特別基金への繰り入れ	50,000	50,000
諸雑費	50,000	16,674
支出合計	**9,930,000**	**7,618,506**
2020年度への繰越金	**18,634,572**	**19,069,185**
総計	**28,564,572**	**26,687,691**

(単位:円)

年次大会特別基金

費目	収入	支出
2018年度よりの繰越金	1,048,597	
本会計よりの繰り入れ	100,000	
利子	10	
大会実行委員会余剰金	35,467	
2020年度への繰越金		1,184,074
合計	**1,184,074**	**1,184,074**

(単位:円)

2020年度予算

本会計

収入	19年度予算	20年度予算
2018年度よりの繰越金	**20,471,259**	-
2019年度よりの繰越金	**－**	**19,069,185**
年会費	**5,343,250**	**3,855,940**
正・学生会員	5,343,250	3,855,940
2017年度以前分	171,100	74,250
2018年度分	356,400	170,000
2019年度分	2,259,750	516,800
2020年度分	2,556,000	3,094,890
賛助会員	0	0
その他	**2,750,063**	**3,050,063**
科研費公開講演会助成金	0	0
科研費国際情報発信強化助成	2,500,000	2,500,000
利子	63	63
AJAMES販売代金	250,000	250,000
寄付	0	300,000
収入合計	**28,564,572**	**25,975,188**

(単位:円)

(参考)各年度正・学生会員会費未納額および納付率

年度	未納額(円)	前年度(2019年度)納付率
2016年度分		40%
2017年度分	165,000	29%
2018年度分	500,000	33%
2019年度分	1,360,000	66%
2020年度分	4,359,000	9%
合計	6,384,000	

上の表の見方は以下の通り

未納額:本年度予算策定時点で在籍している会員の会費未納額

前年度納付率:予算策定年度の前年度決算(たとえば2020年度予算であれば2019年度)における会費納付額÷前年度予算に書かれている未納額×100

＊2020年度予算に書かれている各年度(2017～2020年度)の年会費収入予算は、各年度分の会費未納額(上記)に、その前年度分会費の2019年度における納付率(＝2019年度決算における会費納付額÷2019年度予算に書かれている未納額)に5を足した値の1/100を掛けることによって算出している

年次大会時託児所特別基金

費目	収入	支出
2019年度よりの繰越金	524,710	
本会計より繰り入れ	50,000	
利子	4	
第36回大会託児所運営費		0
2021年度への繰越金		574,714
合計	**574,714**	**574,714**

(単位:円)

年次大会特別基金

費目	収入	支出
2019年度よりの繰越金	1,184,074	
第36回年次大会運営費		100,000
利子	10	
本会計よりの繰り入れ	50,000	
2021年度への繰越金		1,134,084
合計	**1,234,084**	**1,234,084**

(単位:円)

支出	19年度予算	20年度予算
事務局費	**1,960,000**	**2,318,000**
アルバイト謝金	1,300,000	800,000
通信費	80,000	80,000
消耗品費	80,000	50,000
会議費	30,000	30,000
交通費	150,000	50,000
振込手数料	20,000	20,000
事務局備品費	150,000	0
事務局移転費	50,000	0
事務局業務外部委託導入費	-	688,000
事務外注費(10月～3月分)	-	500,000
資料保管費	100,000	100,000
事業費	**7,970,000**	**5,305,000**
大会開催費	400,000	400,000
大会会場費	165,000	0
AJAMES編集費	300,000	300,000
同欧文校閲費	550,000	300,000
同印刷製本費	2,100,000	2,100,000
編集委員会旅費	150,000	150,000
AJAMES宣伝費	100,000	0
ウェブサイト改修費	800,000	200,000
広報委員会事業費	500,000	500,000
国際発信強化旅費(海外招聘)	400,000	0
国際発信強化旅費(海外派遣)	300,000	0
国際交流費	150,000	0
NL発行費	5,000	0
会員名簿発行費	150,000	－
NL発送費	5,000	0
会員名簿発送費	100,000	－
AJAMES国内発送費	150,000	150,000
AJAMES海外発送費	300,000	100,000
選挙費用	－	300,000
J-Stage公開費	440,000	200,000
公開講演会開催費	550,000	300,000
中東・イスラーム文献DB更新費	150,000	150,000
地域研究学会連絡協議会分担金	5,000	0
人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会分担金	－	5,000
年次大会特別基金への繰り入れ	100,000	50,000
託児所特別基金への繰り入れ	50,000	50,000
諸雑費	50,000	50,000
支出合計	**9,930,000**	**7,623,000**
2020年度への繰越金	**18,634,572**	
2021年度への繰越金		**18,352,188**
総計	**28,564,572**	**25,975,188**

(単位:円)

学会奨励賞特別基金

費目	収入	支出
2019年度よりの繰越金(片倉もとこ研究奨励基金を含む)	1,703,613	
奨励金(片倉基金より)		0
振込手数料		0
利子	117	
2021年度への繰越金		1,703,730
合計	**1,703,730**	**1,703,730**

(単位:円)

日本中東学会第 36 回年次大会特別研究集会開催のお知らせ

感染症対策の見地から、桜美林大学で開催を予定されていた第 36 回年次大会は中止を余儀なくされましたが、予定されていた研究発表を行うために、特別研究集会を開催するはこびとなりました。理事会と学会の総会で、参加費は無料と決定されました。（すでに参加費を払い込んだ方には、返金を始めています。まだ返金手続きの住んでいない方は、[james_ml:03520]をみて、手続きをしてください。）

特別研究集会は、8 月 29 日（土曜日）、8 月 30 日（日曜日）の 2 日間にわたって、Zoom のミーティングとして、オンラインで開催されます。第 1 日目（8 月 29 日）には、オープニング・セッションと企画セッションを 3 つ、第 2 日目（8 月 30 日）には、個人発表を 8 つの部会で二つの時間帯に分けて行います。オンラインで当日発表することの難しい方には、PDF ファイルを提出してもらい、発表の割り当てられた時間帯にそのファイルを視聴できるように案内いたします。プログラムの詳細については、学会ウェブサイトならびに本ニューズレターの次ページ以下をご覧ください。

研究発表を行い、それを視聴できるように、8 月 23 日から各会場（プログラムでは MR と表記）の Zoom ミーティングの ID とパスワードを特設サイトに掲示する予定です。Zoom に入り、お知らせした ID とパスワードを入力すれば、ご希望の部会の発表を視聴していただけるはずです。

特別研究集会は、会員限定で開催いたします。ID やパスワードを会員以外の人に知らせない、また個人的に録画はしない、など研究上の機密が保持できるよう、情報管理にご協力ください。

予想外の技術的なトラブルの起きたミーティングについては、9 月 6 日（日曜日）に、録画の再生を可能にする、ないしは補完セッションをオンラインで開催することで、研究発表がもれなく行われるように計画しています。

特別研究集会に関する情報は、順次、ウェブサイトとメーリングリストで通知します。オンラインでの視聴や発表に慣れない会員のために、学会ウェブサイト上に参照していただけるチュートリアルを用意いたしますので、ご利用ください。

学会としては初めての試みで、予想外のハプニングもあるかもしれませんが、人類史に残るであろうこの災難から新しい可能性を開くことができる契機にしたいと願っています。どうかよろしくご協力のほど、お願い申し上げます。

疑問点、ご不審なことがらについては、JAMES36Special@gmail.com までメールでお尋ねください。

第 36 回年次大会特別研究集会実行委員会
大稔哲也、岩崎えり奈、加藤朗、近藤信彰
鷹木恵子、保坂修司、三沢伸生、安田慎
山岸智子（座長）

第 36 回日本中東学会年次大会特別研究集会プログラム

The 36th Annual Meeting of Japan Association for Middle East Studies, Special Academic Meetings

１． 開催日時/ Date

開催日： 2020 年 8 月 29 日（土）、30 日（日）

Date: Saturday 29th and Sunday 30th August 2020

オンライン会場となる Zoom ミーティング ID ならびにパスワードは後日お知らせします。

Zoom Meetings' IDs and passwords will be informed later.

２．プログラム / Program

【１日目 2020 年 8 月 29 日（土）/ First Day: Saturday 29th August 2020】

氏名の右側の（ ）は所属、J は大学院生を指す。

◆開会セッション / Opening Session

14:20～14:50 開会挨拶 日本中東学会会長 大稔哲也（早稲田大学）

Opening Remarks: The President of JAMES, Tetsuya Ohtoshi (Waseda University)

◆企画セッション / Panel Session 15:00～16:30

（1）非国家主体の理論と実践ークルド人の非政府主体を事例として

The concept and practice of nonstate actors: The cases of Kurdish organizations

会場 / Meeting Room MR 1-1 15:00～16:30

司会 Moderator： 辻田俊哉 TSUJITA Toshiya（大阪大学 Osaka University）

発表 ① 青山弘之 AOYAMA Hiroyuki（東京外国語大学 Tokyo University of Foreign Studies）

傀儡か自治か: シリア北東部におけるクルド民族主義勢力の盛衰 (2011～2019 年)

Puppet or Autonomy: Rise and Fall of Kurdish Nationalists in North and East Syria (2011-2019)

発表 ② 吉岡明子 YOSHIOKA Akiko（日本エネルギー経済研究所中東研究センター Institute of Energy Economics, Japan）

イラク・クルディスタン地域の国家性ー未承認国家論からの検討

Statehood of the Kurdistan Region of Iraq – Consideration from the unrecognized states theory

発表 ③　今井宏平　IMAI　Kohei（日本貿易振興機構アジア経済研究所 IDE-JETRO）
クルディスタン労働者党（PKK）の戦略変化に関する政治学的考察
The Analysis of the Strategic Change of the Kurdistan Workers' Party (PKK)
コメンテーター/ Commentator　佐藤章 SATO Akira（日本貿易振興機構アジア経済研究所 IDE-JETRO）

（2）　ダイグロシアとアラビア語教育　Diglossia and Teaching Arabic
会場 / Meeting Room MR1-2　15:00～16:30
司会 Moderator：　榮谷温子 SAKAEDANI Haruko (慶應義塾大学 Keio University）
発表 ①　榮谷温子 SAKAEDANI Haruko（慶應義塾大学 Keio University）
正則アラビア語とエジプト方言の対照分析
A Contrastive Analysis of *al-fuṣḥā* and Egyptian Colloquial Arabic
発表 ②　近藤久美子 KONDO Kumiko（大阪大学 Osaka University）
ブルネイ・ダルサラーム国におけるアラビア語教育
Teaching Arabic in Brunei Darussalam
発表 ③　モハンマド・ファトヒー Mohamed Fathy（東京外国語大学 Tokyo University of Foreign Studies）
“話されるフスハー”の特性とその教授実践例
Characteristics of “Spoken *Fuṣḥa*” and an Example of Its Use in Teaching
発表 ④　岡崎英樹 OKAZAKI Hideki（四天王寺大学 Shitennoji University）
統合アプローチ（Integrated Approach）に取り入れるべき口語変種について
Incorporating Arabic Colloquial Dialect into the Integrated Approach

（3）　企画展「サウジアラビア、オアシスに生きる女性たちの 50 年」に対する一般来場者の反応について
The Reaction of General Visitors to the Exhibition *Exploring 50 Years of Livelihood and Landscape Change in Wadi Fatima, Saudi Arabia*
会場 / Meeting Room MR1-3　15:00～16:30

司会 Moderator：　縄田浩志 NAWATA Koji（秋田大学 Akita University）
発表 ①　西尾哲夫 NISHIO Tetsuo （国立民族学博物館 National Museum of Ethnology）
黒田賢治 KURODA Kenji（国立民族学博物館 National Museum of Ethnology）
フォーアラム型情報ミュージアムとしての展示の可能性について
Review of a Thematic Exhibition in an Info-Forum Museum Subproject toward Succession of Research Results
発表 ②　竹田多麻子 TAKEDA Tamako（横浜ユーラシア文化館 Yokohama Museum of EurAsian Cultures）
一般来場者にとってのサウジアラビア：展示アンケート結果から
Review of Museum Visitor Response: Survey on the Special Exhibition

発表 ③　藤本悠子 FUJIMOTO Yuko（片倉もと子記念沙漠文化財団 Motoko Katakura Foundation for Desert Culture）

「『みられる私』より『みる私』」をどう具体化できたか：片倉もとこフィールド資料を活かした博物館展示

How Exhibitions Embodied the Idea of the Woman "Seeing" rather than "Being Seen": Exhibitions at Museums Utilizing Field Research Materials Collected by Prof. Motoko Katakura

発表 ④　縄田浩志 NAWATA Hiroshi（秋田大学 Akita University）

アラブ流もてなし文化の体験イベントの試み

Arab Hospitality: Experience-oriented Cultural Events by Saudi & Japanese Students

コメンテーター/ Commentator：　寺田鮎美 TERADA Ayumi（東京大学 The University of Tokyo）

【２日目 2020 年 8 月 30 日（日）／ Second Day: Sunday 30th August 2020】

◆個人研究発表 / Individual Paper Presentation

氏名の右側の（　）内は所属。J は大学院生を指す。

氏名の下に波線がついている発表者は、PDF ファイルで発表 Panelists names with waved underlines present their papers in PDF form.

第１部会 / 会場 / Meeting Room MR 1-2　9:00～11:40

9:00-9:40　髙橋稜央 TAKAHASHI Ryo（北海道大学・院 Hokkaido University, J）

後ウマイヤ朝期アンダルス社会とキリスト教徒をめぐる法学議論

Maliki Scholars on Christians in Umayyad al-Andalus: Juridical Dialogues and Discussions around Mixed Marriage

9:40-10:20　早矢仕悠太 HAYASHI Yuta（東京大学・院　The University of Tokyo, J）

中世アンダルスのマーリク派法学における死地蘇生規定の受容

Reception of Islamic legal theories about land reclamation in medieval al-Andalus

10:20-11:00　沖祐太郎 OKI Youtaro（九州大学 Kyushu University）

19 世紀末のアラビア語国際法テキストにおける「戦争」観念の思想史的検討

A Study of the Idea concerning "War" of late 19th century's Arabic International Law

11:00-11:40　小野仁美 ONO Hitomi（東京大学　The University of Tokyo）

21 世紀におけるマカースィド・シャリーア理論の展開

The Evolution of Maqāṣid al-Sharīʿah Theory in the Twenty-First Century

休憩 / Break

第１部会 / 会場 / Meeting Room MR 1-3　12:40～16:00

12:40-13:20 大渕久志 OBUCHI Hisashi（東京大学・院　The University of Tokyo, J）

ザイヌッディーン・カッシー（1228 年以前歿）著『門徒への贈りもの』の予備的研

究

A Preliminary Study of Zayn al-Dīn al-Kaššī's (d. before 1228) Tuḥfat al-aṣḥāb

13:20-14:00　竹村和朗 TAKEMURA Kazuaki（高千穂大学 Takachiho University）

生前贈与の意味と意義：現代エジプトの事例から考える

The Meaning and Significance of an Inter Vivos Gift: A Modern Egyptian Case

14:00-14:40　真殿琴子 MADONO Kotoko（京都大学・院 Kyoto University, J）

オスマン朝下スーフィズム思想における「存在の円」

The Circle of Existence on Works of the Sufis in the Ottoman Empire

14:40-15:20 相樂悠太 SAGARA Yuta（東京大学大学院人文社会系研究科研究員 The University of Tokyo）

イブン・アラビー修行論における「心」（qalb）の概念

Ibn 'Arabī's Doctrine of the Mystic's Heart (qalb) and Spiritual Self-Discipline

15:20-16:00　村上武則 MURAKAMI Takenori（京都大学・院　Kyoto University, J）

アルメニア文字クルド語新約聖書の研究

A Study on the Kurdish New Testament in Armenian Script

第 2 部会 / 会場 / Meeting Room MR 2-2　9:00～11:40

9:00-9:40　Mita, Kaori　三田香織 (Chuo University　中央大学)

Rise of Populism in Kuwait: Observation of Kuwaiti Democracy

9:40-10:20　Goto, Manami　後藤真実　(Tokyo University of Foreign Studies　東京外国語大学)

Dress to Express or Dress to Impress: Adaptation of National Dress amongst Migrants in the Gulf

10:20-11:00　Abbas Zaher, Doaa (Temple University)

Women's Empowerment in Saudi Arabia

11:00-11:40　Iyas Salim Abu hajjar (Doshisha University)

Second Chance Education and the Empowerment of Women: Voices from Palestinian Women in the West Bank and Gaza

休憩 / Break

第 2 部会 / 会場 / Meeting Room MR 2-3　12:40～15:20

12:40-13:20　Rehab Abu hajjar (Ritsumeikan University)

The Principle of Autonomy in Biomedical Ethics: An Islamic Perspective

13:20-14:00　Morrison, Scott (Oxford Brookes University)

Some Characteristics of Money in English and Islamic Law

14:00-14:40　Matsuda, Kazuto　松田和人　(Edinburgh University)

The Impact of Oil and Natural Gas on the Interstate Relations and Domestic Politics of the Gulf since 1973

14:40-15:20　Mallet, Alex (Waseda University)

Christians, Turks, and the First Crusade

第 3 部会 / 会場 / Meeting Room MR 3-2　9:00～11:40

9:00-9:40　ターリク・フセイン，ハカミー Tariq Husain Hakami（東海大学・院 Tokai University, J）

日本語とアラビア語における謝罪意識の比較：謝罪をする側の意識に焦点を当てて

Comparison of apology awareness in Japanese and Arabic languages: Focusing on awareness of apologizing party

9:40-10:20　鷲見朗子 SUMI Akiko（京都ノートルダム女子大学 Kyoto Notre Dame University）、鷲見克典 SUMI Katsunori（名古屋工業大学 Nagoya Institute of Technology）

アラビア語学習者における基本的心理欲求の充足が学習結果に及ぼす効果：自己決定理論に基づく検証

The influence of need support on further need satisfaction among Arabic learners: Based on basic psychological need theory of self-determination theory

10:20-11:00　榮谷温子 SAKAEDANI Haruko（慶応義塾大学 Keio University）

アラビア語エジプト方言の疑問詞 ―日本語との対照分析―

Interrogatives in Egyptian Arabic:　A Contrastive Analysis with Japanese

11:00-11:40　アルモーメン，アブドーラ El-Moammen Abdalla（東海大学 Tokai University）

ア日通訳に於ける訳出上の課題：報道通訳に於ける明示化の攻略法をめぐって

Translation Issues in Arabic-Japanese Interpretation: On the Strategy of Explicitation in Broadcasting Interpretation

休憩 / Break

第 3 部会 / 会場 / Meeting Room MR 3-3　12:40～16:00

12:40-13:20 木下実紀 KINOSHITA Miki（大阪大学・院 Osaka University, J）

19 世紀末イラン翻案作品にみられる言説

Discourses in the works literary translated in the late 19th century

13:20-14:00　岡　真理 OKA Mari（京都大学 Kyoto University）

「帰還」小説 ― エグザイル、ホーム/ランド、そして父と息子の物語

Returning" in the Contemporary Middle Eastern Literature: Exile, Home/land, and "the Father and the Son

14:00-14:40　濱田聖子 HAMADA Seiko（東京大学 The University of Tokyo）

ジャーヒズ著『けちんぼども』に描かれる文人たち

Intellectuals depicted in *Kitāb al-Bukhalā'* of al-Jāḥiẓ

14:40-15:20　竹田敏之 TAKEDA Toshiyuki（京都大学・Kyoto University）

アラブ・イスラーム文化における「千行詩」の伝統と現代性：イブン・マーリク以降のアラビア語文法学を中心に

Tradition and Modernity of the "Alfīya" Literature in Arab Islamic Culture: Focusing on the Development of Arabic Grammar after Ibn Mālik

15:20-16:00　モハンマド，ファトヒー Mohamed Fathy （東京外国語大学 Tokyo

University of Foreign Studies）
正しいアラビア語とは：アラビア語を対象とする研究の課題について
What is correct Arabic?　Research issues in Arabic

第 4 部会 ／ 会場 / Meeting Room MR 4-2　9:00～11:40

9:00-9:40　望月　葵 MOCHIZUKI Aoi（京都大学・院 Kyoto University, J）
シリア難民危機以降のヨーロッパ：難民の帰属と社会包摂
Europe Since The Syrian Refugee Crisis: Refugees' Belongingness and Social Inclusion

9:40-10:20　岡崎弘樹 OKAZAKI Hiroki（日本学術振興会 JSPS）
現代シリアにおける世俗主義と権威主義国家の同盟関係
How did Syrian political thinkers discover an alliance between secularism and authoritarianism?

10:20-11:00 早川英明 HAYAKAWA Hideaki（東京大学・院　The University of Tokyo J）
「宗派主義」は「宗派」に何を期待するか
What Does "Sectarianism" Expect from the "Sect"?

11:00-11:40　岡部友樹 OKABE Yuki（京都大学・院 Kyoto University, J）
紛争後の抗議運動：レバノンにおける『10 月 17 日革命』を事例に
Protest in Post-conflict Settings: "October 17 Revolution" in Lebanon

休憩 / Break

第 4 部会 ／ 会場 / Meeting Room MR 4-3　12:40～14:40

12:40-13:20　松原康介 MATSUBARA Kosuke（筑波大学 Tsukuba University）
20 世紀後半におけるオールド・ダマスクスの都市計画思想
Urban Planning Thought in the Old Damascus in late 20th century

13:20-14:00　田村うらら TAMURA Ulara（金沢大学 Kanazawa University）
トルコ共和国における「遊牧民」ユルックの公共化：文化祭典の分析から
Publicization of Yörük "Nomadism" in Turkey: Through an Analysis of a Cultural Festival

14:00-14:40　モハッラミプール，ザヘラ MOHARRAMIPOUR Zahra（東京大学・院 The University of Tokyo, J）
黒板勝美のペルシア旅行と東洋観
Katsumi Kuroita's travels through Persia and his concept of the Orient

第 5 部会 ／ 会場 / Meeting Room MR 5-2　9:00～11:40

9:00-9:40　永島　育 NAGASHIMA Iku（早稲田大学 Waseda University ）
エディルネ機動師団：オスマン陸軍による不正規戦争遂行の一例として（1903-1904）
The Ottoman Unconventional War and Edirne Mobile Division (1903-1904)

9:40-10:20　岩元恕文 IWAMOTO Hirofumi（九州大学・院　Kyushu University, J）
トルコ共和国初期におけるユダヤ人と国民国家: 「市民よ、トルコ語話そう」運動前後におけるアヴラム・ガランティとテキンアルプの活動
Jews and Nation-State in Early Republican Turkey: Activities of Avram Galanti and Tekin

Alp around ‘Citizen, Speak Turkish!’ movement

10:20-11:00 今城尚彦 IMAJO Naohiko (東京外国語大学・院 Tokyo University of Foreign Studies, J）

「アレヴィーらしさ」の社会的脈略：トルコ都市部の若者における自己規定とその葛藤

Contextualizing ‘Aleviness’: Conflicting Self-identifications among Urban Youth in Turkey

11:00-11:40 幸加木文 KOKAKI Aya（千葉大学 Chiba University）

トルコ人女性のスカーフ着用をめぐる宗教意識の諸相： 宗教保守化と再世俗化の狭間で

Religious Consciousness between Religious Conservatism and Re-secularization in Turkey in Light of Women’s Discourse on the Headscarf

休憩 / Break

第 5 部会 / 会場 / Meeting Room MR 5-3 12:40～16:00

12:40-13:20 黒田賢治 KURODA Kenji（人間文化研究機構 National Institute for the Humanities）

現代イランにおける記憶の歴史化と忘却の政治：ある帰還志願兵を中心に

“Historicized” War Memory and Politics of Oblivion in Contemporary Iran

13:20-14:00 梶山卓哉 KAJIYAMA Takuya（龍谷大学・院 Ryukoku University, J）

イラン・イスラーム共和国憲法草案の比較

Comparison between two drafts of the Constitution of the Islamic Republic of Iran

14:00-14:40 今井真士 IMAI Makoto（学習院大学 Gakushuin University）

権威主義体制下における二院制の多様性：エジプトの 2019 年憲法改正における元老院の開設とその理論的意義

Varieties of Bicameralism under Authoritarianism: The Egypt’s 2019 Constitutional Amendments, the Senate and Its Theoretical Implications

14:40-15:20 小林 周 KOBAYASHI Amane（日本エネルギー経済研究所 中東研究センター The Institute of Energy Economics, Japan）

分断と統合の狭間で：リビア国民の政治意識分析

Civil War and Citizen’s Political Perspectives: An Analysis of Opinion Poll in Libya

15:20-16:00 千坂知世 CHISAKA Tomoyo （大阪大学・院 Osaka University, J)

イラン国会選挙における資格審査の実態調査(1980-2012)

An empirical analysis of candidate screening in Iran’s parliamentary elections, 1984-2020

第 6 部会 / 会場 / Meeting Room MR 6-2 9:00～11:40

9:00-9:40 渡部敬子 WATABE Keiko（大阪府立大学・院 University of Osaka Prefecture, J）

社説は、いかにパレスチナに於ける「ユダヤ人国家」樹立を促進したか—1936 年 4 月 17 日のパレスチナポストとジューイッシュクロニクルの批判的ディスコース分析

How Editorials Promoted the Establishment of 'Jewish State' in Palestine : A Critical Discourse Analysis of the Palestine Post and the Jewish Chronicle on April 17th, 1936

9:40-10:20　金城美幸 KINJO Miyuki（立命館大学 Ritsumeikan University）

被占領地のパレスチナ難民にとって「帰還」とは：リフター村の事例より

The Meaning of "Return" for Palestinian Refugees under the Israeli Occupation: A Case of Lifta Villagers

10:20-11:00 児玉恵美 KODAMA Emi（東京外国語大学・院 Tokyo University of Foreign Studies, J）

レバノンにおけるパレスチナ解放運動と殉教概念

Palestinian Resistance Movement in Lebanon and the notion of martyrdom

11:00-11:40　鈴木啓之 SUZUKI Hiroyuki（東京大学 The University of Tokyo）

イスラエル占領政策の蹉跌：第四次中東戦争後の変遷を軸に

Early Forms of Israeli Occupation: Changes after the Yom Kippur War in 1973

休憩 / Break

第 6 部会 / 会場 / Meeting Room MR 5-3　12:40～16:00

12:40-13:20　今野泰三 IMANO Taizo（中京大学 Chukyo University）

宗教とネーションの創造： 宗教的シオニズムと文化的シオニズムの Judaism を巡る議論

Religion in the Nation-building: Struggle between Religions Zionism and Cultural Zionism over the Meaning of Judaism

13:20-14:00　戸澤典子 TAZAWA Noriko（東京大学・院　The University of Tokyo, J）

ヨルダン川西岸地区のアメリカ系ユダヤ人入植者：2000 年以降の移民定住を事例として

American Jewish Settlers in the West Bank of Jordan River : A Case of the Immigrant Settlement Since 2000

14:00-14:40　池端蕗子 IKEHATA Fukiko　（日本学術振興会　JSPS）

『君主と学者の同盟』の現代版か？ ヨルダン、ガーズィー王子の思想と活動

A Contemporary Version of Alliance between Umarā' (Rulers) and Ulamā' (Scholars)?: A Study on Thought and Activities of Prince Ghazi of Jordan

14:40-15:20　保井啓志 YASUI Hiroshi（東京大学・院 The University of Tokyo, J）

フェミニズムから見たシオニズムの一考察

An Examination of Zionism from a Feminist Perspective

15:20-16:00　ヘバタッラー, オマル Habatalla Omar（名古屋大学・院 Nagoya University, J）

FGM オリエンタリズムとダブルスタンダード：エジプトを中心に

FGM Orientalism and Double Standard: Focusing on Egypt

第 7 部会 / 会場 / Meeting Room MR 7-2　9:00～11:40

9:00-9:40　臼杵 悠 USUKI Haruka（一橋大学・院　Hitotsubashi University, J）

ヨルダンにおける女性の労働市場参加と就業状況：2008 年・2010 年世帯調査から

Female Participation and Employment in the Labor Market in Jordan: An Analysis Based on Household Surveys from 2008 and 2010

9:40-10:20　ハシャン, アンマール Khashan Ammar（立命館大学 Ritsumeikan University）

イスラーム仮想通貨はどこまで可能か？その是非をめぐる 3 つの争点と法学的経済論の視座

Can Cryptocurrency be Valid in the Islamic Context? Exploring the Legal and Economic Debates on the Three Major Issues in the Current Phase

10:20-11:00　足立真理 ADACHI Mari（京都大学 Kyoto University）

現代インドネシアにおけるザカート制度化の沿革: 準市場化に向けた競合・協働事例の検討

Developments History of Zakat Institutionalization in Contemporary Indonesia: Examination of Contesting and Collaborative Cases towards Quasi-Marketing

11:00-11:40　桐原 翠 KIRIHARA Midori（日本学術振興会 JSPS）

ハラール認証制度における認証規準：イスラーム法規定とマレーシアの行政規則

Standards of Halal Certification System: The Provisions of Islamic Law and Malaysian Administrative Regulations

休憩 / Break

第 7 部会 / 会場 / Meeting Room MR 7-3　12:40～14:40

12:40-13:20　清水 学　SHIMIZU Manabu（アジア経済研究所名誉研究員　IDE-JETRO）

インド BJP 政権の対中東・ムスリム認識

BJP government and its perception of Muslims in India

13:20-14:00　小山 友 OYAMA Tomo（千葉大学・院　Chiba University, J）

移民送出国との関係性から検証する現代オランダにおけるトルコ系移民の政治：近隣西欧諸国との比較の視座から

The politics of Turkish immigrants in the Netherlands in the context of immigrants sending country and neighboring West European countries

14:00-14:40　青木健太 AOKI Kenta（中東調査会 Middle East Institute of Japan）

アフガニスタン現代政治の構造と様態： 現体制における権力の配置とその含意

Structure of the Modern Politics in Afghanistan: Distribution of Power in the Current Regime and its Implication

第 8 部会 / 会場 / Meeting Room MR 8-2　9:00～11:40

9:00-9:40　棚橋由賀里 TANAHASHI Yukari（京都大学・院　Kyoto University, J）

ムハンマド・イブン・スライマーン・ジャズーリーのイスラーム思想：　15 世紀モロッコにおける神理解と民衆教導

The Islamic Thought of Muḥammad ibn Sulaymān al-Jazūlī: The Understanding of Allāh and the Popular Instruction in 15th Century Morocco

9:40-10:20　関佳奈子 SEKI Kanako（上智大学 Sophia University）

20 世紀初頭のモロッコ北部における諸部族の動向：リーフ戦争再考のための一考察

Tribes in Northern Morocco in the Early 20th Century: A Consideration for Rethinking the Rif War

10:20-11:00　山口匠 YAMAGUCHI Takumi（東京大学・院　The University of Tokyo, J）

デジタル・アーカイヴ化される文化的多様性：　現代モロッコにおける公共文化への挑戦

Archiving Moroccan Cultural Diversity: An Initiative for the Public Culture in Contemporary Morocco

11:00-11:40　池北眞帆　IKEKITA Maho（東京大学・院 The University of Tokyo. J）

スペイン極右勢力 VOX の反イスラム言説の論理と新展開

The Logic of Anti-Islam Discourses of Spanish Extreme Right Party, VOX and its Transformation

休憩 / Break

第 8 部会 / 会場 / Meeting Room MR 8-3　12:40～15:20

12:40-13:20　渡部良子 WATABE Ryoko（東京大学 The University of Tokyo）

前近代イランにおける聖者廟の財産管理：サファヴィー朝期におけるシャイフ・サフィー廟の不動産運営を通して

Fiscal Administration of Shrines of Saints in Pre-modern Iran: Estate Management System of Shaykh Ṣafī's Mausoleum in the Safavid Period

13:20-14:00　後藤敦子 GOTO Atsuko　（お茶の水女子大学 Ochanomizu University）

セルジューク朝におけるワズィール職の一側面：ダルガズィーニー家を中心に

One aspect of the wazir office in the Seljuk dynasty: Focus on the Dargazini family

14:00-14:40　成地草太　NARUJI Sota（明治大学・院　Meiji University, J）

地方住民とチェルケス難民との衝突：　オスマン帝国東部国境地域バトゥミ郡の事例から

The Conflicts between Local Residents and Circassian Refugees: The Example of Batumi Kazâsı on Ottoman Eastern Boundaries (1864-69)

14:40-15:20　岩田和馬 IWATA Kazuma（東京外国語大学・院 Tokyo University of Foreign Studies, J）

18 世紀イスタンブルの場の利用権をめぐる争い

Conflicts Over the Usufruct of Space in the 18th Century Istanbul

『日本中東学会年報（AJAMES）』編集委員会報告

- 36-1 号を 7 月に発行いたしました。
- 36-2 号投稿論文の審査を行っております。投稿いただいた方には 8 月に入ってから審査結果をお知らせいたします。
- 37-1 号の投稿締め切りは 12 月 1 日です。欧文の特集を含め、皆様の御投稿をお待ち申し上げております。
- 本誌に関するお問い合わせ先、原稿投稿先は以下のとおりです。

〒101-8301　東京都千代田区神田駿河台 1-1
明治大学情報コミュニケーション学部　横田貴之気付
『日本中東学会年報』編集委員会
ajames-editor@james1985.org

（横田貴之 AJAMES 編集委員長）

「会費の前納制廃止」にあたってのお願い

先の総会において、「会費の前納制廃止」が賛成 182 票で承認されましたが、同時に「否認」3 票が投じられたことを重く受け止めております。1985 年の本学会創設当初はゼロからのスタートであり、会員があらかじめ資金を持ち寄る前納制によって、皆が学会運営へ積極的に加わるという独自の精神が育まれてきました。創設当時の皆様のご尽力にははかり知れないものがあります。このような前納制の精神を継承するべく、今後も当該年度の学会活動に活用される年会費を各年度のなるべく早い時期に納入いただきますよう会員の皆様には伏してお願い申し上げます。

（江川ひかり　財務・会則担当理事）

寄贈図書

【単行本】

Nobuo MISAWA (ed.), *The Roots of the Japanese Policy against the Middle East and Islam: Reconsiderations on 100th Anniversary of Paris Peace Conference (1919) at the International Symposium* (June 22-23, 2019/ Tokyo University) (ACRI: Research Paper Series, 17), Asian Cultures Research Institute, Toyo University, 2020.

福田義昭『昭和文学のなかの在日ムスリム』(ACRI: Research Paper Series, 16）東洋大学アジア文化研究所、2020 年

原隆一, 南里浩子編『大野盛雄フィールドワークの軌跡, 4：乾燥地域の「米の道」稲作から米の料理まで 1988～1993 年』大東文化大学東洋研究所西アジア地域におけ

る伝統と変容研究班、2020 年

Miura Toru, Sato Kentaro (eds.), *The Vellum Contract Documents in Morocco in the Sixteenth to Nineteenth Centuries, Part II* (Toyo Bunko research library, 22). Tokyo: The Toyo Bunko, 2020.

【逐次刊行物・ジャーナル・その他】

『季刊アラブ』171 号、日本アラブ協会、2020 年 4 月

会員の異動

【新入会員】

木村　真利子
Doaa Zaher
Iyas Abhu-Hajiar Salim
Rehab Abuhajiar
飛田麻也香
ヤズィード・ナーセル
渡邊 文佳

【2019 年度末をもって退会した会員】

小阪　裕城	小牧　昌平	山﨑　暁	木原　悠
奥山　眞知	角田　紘美	髙岡　豊	栗山　保之
堀内　正樹	太田　敬子	大川原　香子	木村　有里
川向　善基	仲田　由紀美	斉藤　真美子	羽田　正
斎藤　富美子	瀬戸　邦弘	ユーセフ フセイン	ザナティ
岡野　恭子	Lee Yong-Bin	Saleh Adel Amin	Kangsuk Kim
武藤　幸治	Saleh Muhammad Zeki Mahmood Al-Leheabi		
屋山　久美子	Khalil Dahbi	高橋　和夫	滝口　太郎
田中　好子	千條　真理子	Abrar Abdulmanan Bar	
タキデ　モハマッド		大藪　加奈	橋本　光平
柏原　良英	米山　知子	森田　昌宏	高橋　信一郎

事務局より

6 月のオンライン総会にご協力いただき、ありがとうございました。対面で議論ができない難しさのある中で、例年より多くの会員の方に採決にご参加いただけました。総会の決議を受けまして、今年度は正会員の 2020 年度分と、滞納のある会員のみに振込用紙を郵送しております。すでに 2020 年度をお支払いいただいている会員の方、学生・会費特例会員の方には振込用紙が届きませんので、ご承知おきください。

また、事務局の外部委託化の手続きを開始しました。各自の会費納入状況がわかる個人ページやオンライン選挙など、会員の皆様の利便性を向上できるよう、準備を進めてまいります。

【銀行口座・インターネットバンキングからも学会費をご納入いただけます】
インターネットバンキングや通常の銀行振り込みをご希望の方は、三井住友銀行渋谷支店（普）5346808 か、ゆうちょ銀行〇一九店（当）0161096 宛てにお振込みください。
振込人名をもとに納入状況を管理しておりますので、学会に登録されているお名前以外の口座からお振込みされる方は、事務局までご一報ください。（安田慎 事務局長）

編集後記

新型コロナウィルス COVID-19 の流行は残念ながらとどまることなく、いつ収束するともわからないなか、さまざまな不自由を強いられる日々が続いています。私自身も、ようやく授業期間が終わり、授業動画作成から解放されたところです。日本中東学会では、総会をオンラインで開催するという初めての試みを行い、無事終了しました。そして 8 月末には、年次大会の研究発表の代替として特別研究集会をオンライン開催（Zoom 開催）します。プログラムを掲載したこのニューズレターの発行が遅れまして大変申し訳ございません。数多くの会員の方々の参加を期待しております。

（秋葉淳　ニューズレター担当理事）

日本中東学会ニューズレター　第 158 号
発行日　2020 年 8 月 5 日
発行所　日本中東学会事務局

日本中東学会事務局
〒370-0801　群馬県高崎市上並榎町 1300
高崎経済大学　安田慎研究室
E-mail: james@james1985.org
http://www.james1985.org/
郵便振替口座：00140-0-161096（日本中東学会）
銀行口座：三井住友銀行渋谷支店（普）5346808
（日本中東学会）
ゆうちょ銀行口座：〇一九店（当）0161096
（ニホンチュウトウガクカイ）